**入力の手引き**

**第48回日本膵切研究会アンケート調査**

日本膵切研究会参加施設の皆様、この度は第48回日本膵切研究会のアンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

1. データの入力について

■調査対象期間は2009年1月1日から2019年12月31日です。

■データシート左上段に施設名と連絡先メールの記載をお願いいたします。

■一症例あたり94項目（E列～CT列）の入力が必要です。

■空欄がないよう、**すべての項目に入力**をお願いいたします。

■欠測値がある場合は “―”（半角マイナス） を選択入力してください。

■全てのデータ入力が完成するとA列「未入力列数」が0になり、一番右端の入力欄外CU列に

コンプリートメッセージが表示されます。

■数値入力は英数半角でお願いいたします。なお、自動的に半角になるように設定しています。

■カテゴリカルなデータはポップアップ式の選択としています。

■計算式で自動入力されるセルがありますが、データ入れ直しの際はCtrl+Z (windows)、

command+Z (mac）、または左上の巻き矢印で戻してください。

Delボタンを使うと計算式が消えて、自動入力欄を手動で選択していただく必要があります。

■日付計算やHbA1c (JDS)から国際基準 (NSDP)への換算式は上欄の計算機をご活用ください。

また、Clavien-Dindo分類は左下のシートボタンでご参照ください。

■特記事項などがございましたらC列を自由入力欄としてご活用ください。

■データ保存は、上書き保存またはCtrl+S (windows)、command+S (mac）でお願いいたします。

■B列はIDや手術日など、入力時の補助として設けておりますが、当方は必要とはしませんので、

個人情報保護上問題となる情報は消去した上で、データシートを郵送にてご返送ください。

■いくつかの手術のvariationに対応しています。

例えば、開腹でDP-CARを行った場合、#37のアプローチ法で”開腹”、#38で“脾摘あり”、

＃39～45で胃栄養血管処理、＃46～52で胃虚血の所見、#53～55で胃合併切除に関する項目を入力後、#56～58のその他臓器の合併切除の欄で、”腹腔動脈”、”総肝動脈”をご選択ください。

Posterior RAMPSを併施された場合には、さらに#57で”左副腎”をご選択いただけます。

また、DP-CARで残胃を温存する目的で血行再建をしたのであれば、＃53胃合併切除の有無で”無(胃虚血に対する血行改変を行った)”、#54胃合併切除は”無”、#55胃切除の理由は”無”を選択します。

1. 個人情報の取り扱いの安全を期すため、CRF入力後にCD-RWに保存の上、同封の返信用封筒でご返送ください。提出の締め切りは**2021年5月31日**とさせていだきます。
2. データ入力に関するお問い合わせについて

ご不明な点や不備などがございましたら、下記にお問い合わせください。

メール件名：第48回日本膵切研究会アンケート問い合わせ

メールアドレス：batayan5@med.shimane-u.ac.jp　川畑康成（島根大学医学部肝胆膵外科講師）宛て

入力項目数が多くご面倒をおかけしますが、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。